

ACKU 151回 鷲ヶ岳ログハウス訪問・春スキー登山報告

昨年初め、井上達男さんが白山の南 鷲ヶ岳にログハウスを造り「終の棲家」とするとの話を聞いた。是非我々ロートルスキーヤーを招待しろと言っておいたのが、3月17日～20日の本例会となった次第である。本新設ログハウスの400m近くに中園さんの「14年」前に作られた、立派なログハウスもあり、両ご夫婦からアットホームな接待を頂いた。

添付イラストは我々の岳友橋本画伯作成の逸品である、それに加え例会幹事の小生の報告をまとめました（参加者・記録等の詳細は井上達男幹事のマトメを御覧ください）。

- * 先ず、東京から豊田さん、西からは最長老の金井健二さんと総勢14人となった。平井先生、小谷さんが体調不良での欠席が残念であった。
スキーと温泉入浴の後、3日に渡り薪ストーブを脇に、大宴会を行なった。鹿児島から参加の有馬さん差し入れのカンパチの刺身、「森の伊蔵」を楽しんだ。2日目の18日、長老金井健二さんが「今日誕生日や；S7年3月18日生」と何時ものように「恥ずかしげ」にタイミングよく呟かれた。ハッピーバースデーの合唱の下、乾杯と相成った。アルコールは多彩豊富で、信さん“新築祝い”の「ワイン」はドンと歓談の我々を眺めていた。イラストは其の時の状況である、両奥様と金井さん以外、少なくともご自分の姿は確認願いたい。
昨年だったと記憶するが、氷ノ山の小屋整備例会のとき、大段平から小屋に登る途中で二十歳そこそこの間瀬君に向かって、金井さんが「4倍近い年の僕と一緒にできるスポーツは他にない」呟かれたことを思い出した。
豊田さんのスキーは、4年前のソルトレイクで御一緒した時以来であるが、迫力満点の深雪ボーゲンに健在であった。
- * 2日目の大日ヶ岳のスキーは最高の天気で秀逸でした。ゴンドラ終点から、頂上まで、先行健脚アイゼンシール・ツアー組みの4人に小半時遅れで立てた。目前の白山、後には中央・南アルプス、御岳の眺望を満喫した。豊田・有馬組が、先行4人に追いつくべく迫っていたが、振り切られたようだ。頂上までスキーを履いた豊田さんは、ツアー4人組みに合流したいげであったが、断念された（勿論小生達は2ピッチ目でデポ）。夜の4人の話からして、賢明なる判断と思う。「登りの豊田、下りの金井（健二）」の言は間違いないようだ。4人のツアー組みの話では、20万で山スキー7点セットを新調した緒方さんが、スキーのお陰とは思いますが健闘したようだ、金井良さんが後塵を拝したようで、「目一杯」との言にロートル同溜飲が下がった。名人上手の和光さんの自分を殺してのアテンドには感謝する。中園さんのスキーもなかなかの物、2年ブランクがある土山さんが苦労した事を追加する。
- * 少し両ご夫婦の事にふれたい。井上夫人は「すずこ」さん（涼子）です。ころころ鈴を転がすような声で「的を得た気配り・目配り」で面倒を見ていただいた。ヤンチャなご主人“韋駄天の達”が今日あるのは、涼子さんなればこそと合点した。2日間、中園ロッジにも4人泊めていただいたが、肝っ玉母さんさながらで、「14年前、主人が多忙な現役時にカナダ輸入のロッジを私が差配して、建てたのよ」仰った。亡羊とした中園さんが立派なロッジをもてたのは「この奥様なればこそ」と納得した。
- * 数えてみれば、この2つのロッジの他に、ACKUの年寄りには他に夫々4箇所でセカンドハウスを持っておられる。毎年ご厄介になっている、お馴染みの「合歓の木」、川畑さんの羽鳥湖の別荘（那須高原）、岡市さんの京都北山のロッジ、昨年手に入れられた原田さんの蓼科の“岳

